

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 山口県共同募金会

<はじめに>

令和4年度で76回目を迎えた共同募金運動は、依然として、新型コロナウイルス感染症による募金活動への制約が続く中、さらに急激な物価の上昇の影響なども加わり、厳しい環境でのスタートとなりました。

戸別募金については、人口の減少や高齢化の進展などにより、引き続き減少傾向にあるものの、街頭募金やイベント募金については、ワクチン接種などの感染症対策が進んだことから一部で再開され、募金実績も前年度を上回りました。また、8年目を迎えた「UMOUプロジェクト in 山口」では、2年連続で90万円を超える実績となり、さらに、「ガチャガチャ募金」については、各市町共同募金委員会が設置場所の工夫やオリジナルの景品の製作などに積極的に取り組んだことにより、実績が大幅に増加するなど明るい兆しも見られました。

この結果、令和4年度の募金実績は、3億2,907万円余（対前年度99.0%）となり、前年度を約335万円下回ったものの、助成に必要な額は確保することができました。ご協力をいただきました県民の皆様並びに運動に取り組んでいただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

これらを財源として、一般助成や歳末たすけあい助成に取り組んだところですが、とりわけ、コロナ禍の長期化により、経済的に困窮する人や社会的に孤立する人の増加等が懸念されることから、引き続きコロナ対策に重点的に取り組むこととし、フードパントリー活動や子どもの学習支援活動を行う28団体に対して736万円の助成を行いました。また、県社会福祉協議会との連携の下、特に潜在化しやすく支援の手の行き届いていない「ひきこもりの人」や「ヤングケアラー」について、地域の新たな支援活動の展開や既存の支援活動の活性化を図るため、令和3年度に新設した「特別助成プログラム」の拡充を図ったところです。

こうした中、ポスト・コロナ社会に向けた継続的な支援をはじめ、子どもの貧困や社会的孤立、引きこもり、ヤングケアラー等の新たな福祉課題、さらには、近年頻発している大規模自然災害への対応など、支援ニーズは増大、多様化しており、共同募金の果たすべき役割はますます大きくなっています。

本会としては、こうしたニーズに的確に応え、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会を実現できるよう、今後とも、市町共同募金委員会と一体となって、「共同募金の運動性の再生10年方針」（平成30年3月策定）に沿って、共同募金運動を積極的に推進してまいります。

＜事業の実績＞

1 共感できる募金の推進

市町共同募金委員会との連携のもと、地域の解決すべき課題等を把握し、地域住民にしっかり示した上で、戸別募金や職域募金等の推進を図るとともに、「募金百貨店プロジェクト」や「テーマ募金」、「ガチャガチャ募金」などの新たな募金手法の充実強化に取り組みました。

(1) 明確に説明できる目標額の設定

共同募金は計画募金であり、県全体で必要となる資金ニーズや公募結果等を踏まえた目標額を設定するとともに、広く周知を図りました。

○目標額	一般募金	265,880千円
	地域歳末たすけあい募金	77,670千円
	NHK歳末たすけあい募金	8,000千円
	赤い羽根テーマ募金	4,500千円
	合 計	356,050千円

※募金総額：329,073千円余（前年度：332,420千円余）

(2) 従来の募金手法の取組

戸別募金や法人・職域募金等、従来の募金手法を活用した募金に積極的に取り組みました。

ア 一般募金

実 績：243,834千円余（前年度：243,454千円余）

(ア) 戸別募金

実 績：175,586千円余（前年度：178,586千円余）

市町共同募金委員会に対して募金資材の斡旋や取組への支援を行うとともに、マスコミへの情報提供、ポスターによる広報活動等を行いました。

(イ) 法人・職域募金

実 績：39,140千円余（前年度：40,814千円余）

市町共同募金委員会による法人・職域への募金の呼びかけや、市町共同募金委員会と役割分担した県共同募金会の職域募金の依頼、募金百貨店プロジェクトの推進等を図りました。

(ウ) 街頭募金・イベント募金

実績：6,040千円余（前年度：3,332千円余）

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に留意しながら、できる範囲で街頭募金やイベント募金が再開されました。

(イ) 学校・子ども会募金

実績：4,000千円余（前年度：4,275千円余）

学校での募金活動や県子ども会連合会と連携した組立式募金箱の提供による募金活動が行われました。

(オ) その他

実績：19,066千円余（前年度：16,445千円余）

個人や団体、企業などから募金が寄せられました。

イ 地域歳末たすけあい募金

実績：74,027千円余（前年度：75,988千円余）

市町共同募金委員会では、歳末に支援が必要な方々のための募金活動を実施しました。

ウ NHK歳末たすけあい募金

実績：5,518千円余（前年度：6,476千円余）

NHK山口放送局において、募金の開始式を実施するとともに募金受入窓口を設置し、放送により広く募金を呼びかけました。

(3) 新たな募金手法の取組

募金の確保を図るため、新たな募金手法に積極的に取り組みました。

ア 赤い羽根テーマ募金

実績：5,692千円余（前年度：6,501千円余）

赤い羽根テーマ募金取組団体の募集に応募し、認定された7団体が、自ら赤い羽根を掲げて募金運動を推進しました。

イ 募金百貨店プロジェクト（法人募金の内数）

実績：5,898千円余（前年度：6,029千円余）

“寄付つきの商品・企画”を販売し、売上の一部を赤い羽根共同募金に寄付する取組を推進しました。

ウ UMOUプロジェクト in 山口（法人募金の内数）

実績：931千円余（前年度：993千円余）

使われなくなった羽毛製品を回収し、リサイクル業者の引取り料金を寄付金とする取組を推進しました。平成27年から始めたこのプロジェクトも8年目を迎え、回収した羽毛布団が1万枚を超えるなど着実に推移してきています。

エ ガチャガチャ募金（一般募金の内数）

実績：1,044千円余（前年度：457千円余）

令和3年度に始めたガチャガチャ募金については、各市町共同募金委員会が独自の缶バッジの作成や観光地への設置などに積極的に取り組んだことにより大幅な増加となりました。

オ 遺贈・相続寄付の取組強化（個人募金の内数）

相続寄付実績：1件、3,000千円（皆増）

次世代のために遺贈・相続寄付を通じて社会貢献したいと考える方々も少しずつ増えていることから、ホームページでのPRを図りました。

2 共同募金運動推進のための取組

共同募金運動の一層の推進を図るため、福祉教育による寄付文化の浸透を図るとともに、様々な場面や機会を活用して赤い羽根のPRに努めました。

(1) 福祉教育による寄付文化の浸透

寄付文化の浸透を図るため、山口県立大学学生サークルMEP（未来を笑顔にプロジェクト）と連携し、赤い羽根を活用した福祉教育に取り組みました。

▽出前授業

- ・大内中学校（6月1日、8日）

▽その他

- ・「赤い羽根・山口児童館コラボ企画～キラキラ募金箱を作ろう～」(山口市共同募金委員会主催)の実施(8月26日)
- ・令和4年度学生ボランティア会議(山陽小野田市社会福祉協議会主催)における赤い羽根共同募金の講座の開催(8月27日)

(2) 赤い羽根のPR

赤い羽根共同募金運動の気運醸成を図るため、赤い羽根の着用を促進するとともに、様々な場面で赤い羽根が目に触れる環境づくりを進めました。

ア 赤い羽根オープニングイベントの実施（10月1日）

新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和3年度と同様、社会福祉会館において関係者のみの参加とし、規模を縮小して実施しました。

イ 寄付金贈呈式等を活用したPR

新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、寄付金贈呈式や助成決定通知書交付式（4月18日）を実施しました。

ウ 赤い羽根着用の働きかけ

一般住民と接する機会の多い金融機関の窓口職員や、放送を通じてPRできるマスコミ関係者に対して、運動開始時の赤い羽根着用に働きかけました。

エ オリジナルバッジ等によるPR

レノファ山口FCの協力を得て、赤い羽根レノ丸バッジを作成し、募金資材や赤い羽根PR資材として活用しました。

オ 赤い羽根共同募金パンフレットの作成（新規）

赤い羽根共同募金の実績や使い道を分かりやすく記載した「赤い羽根レポート2021」を新たに作成し、赤い羽根共同募金の理解促進を図りました。

カ ホームページ等によるPR

赤い羽根共同募金運動や本会の事業等について、ホームページやSNSを通じた情報発信に努めました。

3 地域ニーズを反映した助成

共同募金の使命である地域福祉の充実を図るため、市町共同募金委員会と連携し、地域ニーズを的確に把握して助成を行うとともに、助成した活動の内容や成果を赤い羽根レポートやホームページに掲載し、情報発信に努めました。

また、県域公募助成の助成団体に対し、活動内容の充実に向けて、配分委員会における意見等をフィードバックするとともに、県社会福祉協議会と連携し、「特別助成プログラム」による重点的な支援を行いました。

(1) 県域助成

ア 公募助成

実績：37件 27,900千円 ※内1,250千円はNHK歳末から充当
(前年度：31,830千円)

関係団体等への通知や本会ホームページへの掲載等を通じて幅広く広報し、適切な助成となるよう努めました。また、活動内容等の充実に向けて、配分委員会における意見等を助成団体にフィードバックしました。

イ 「赤い羽根ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン～それでもつながり続ける地域・社会をめざして～」助成（新規）

実績：28件 7,360千円

中央共同募金会の呼びかけに応じて、新型コロナウイルス感染症の長期化により地域で生活に困難を抱える人を支援するため、本会では「フードパントリー活動」及び「子どもの学習支援活動」への助成を行いました。

ウ 赤い羽根テーマ募金

実績：7団体 5,692千円余（前年度：6,501千円余）

認定団体が自ら赤い羽根を掲げて募金活動を行い、活動資金を確保するテーマ募金を実施しました。

エ 緊急支援事業による助成

実績：1件 500千円（前年度：4,800千円）

緊急に支援を必要とする団体に対して、緊急支援事業積立金による助成を行いました。

オ 特別助成プログラム

事業費：4,000千円

前年度に引き続き、「特別助成プログラム」として、令和5年度に「ひきこもりの人」及び「ヤングケアラー」を支援する団体に対して公募助成を行うこととしました。

《参考》

令和3年度事業（令和4年度実施分）実績：11件 2,209千円

(ア) 「ひきこもり」を支える赤い羽根プロジェクト

団体名	所在地	活動内容	助成額(円)
えこの里	防府市	居場所づくり、就労移行支援	300,000
地域食堂ふらっと	美祢市	不登校児家庭へのフードパントリー	110,000
NPO法人 Nest	下関市	日曜個別相談会、講演会	250,000
NPO法人 マザーズホーム	下関市	居場所提供、就労訓練	230,000
KHJ山口県「きらら会」	長門市	居場所提供、就労訓練	240,000
計			1,130,000

(イ) 「ヤングケアラー」を支える赤い羽根プロジェクト

団体名	所在地	活動内容	助成額(円)
母子生活支援施設 沙羅の木	山口市	フードパントリー、学校用品リサイクルの仕組みづくり	200,000
地域食堂ふらっと	美祢市	フードパントリー	110,000

曾根地区福祉の輪づくり運動推進委員会	平生町	民生委員児童委員等の研修会	20,000
NPO法人 コネクト・ワン	周南市	専門職や関係者の勉強会・研修会	258,000
さばっこの会	防府市	実態把握を兼ねたフードパントリー	300,000
夢・すこやか☆老いも若きも子ども食堂	柳井市	講演会、フードパントリー等	191,000
計			1,079,000

カ 「ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン 赤い羽根 福祉施設と地域の「絆」復活プロジェクト」助成（新規）

事業費：6,000千円

中央共同募金会の呼びかけに応じ、コロナ禍の長期化により福祉施設と地域社会との関係が希薄化している状況を踏まえ、令和5年度において、利用者と地域の方々との交流の活性化を図る入所型の福祉施設に対し助成することとしました。

(2) 地域福祉事業費助成

実績：186,984千円余 ※内18,780千円余は地域歳末から充当
(前年度194,155千円余)

市町共同募金委員会において小地域福祉活動（地区社会福祉協議会、自治会等）への助成を行うとともに、新たな地域課題を踏まえた活動への助成を促進しました。

(3) 地域歳末たすけあい募金助成

実績：55,247千円余（前年度：53,853千円余）

各市町共同募金委員会において、高齢者や障害者などの支援が必要な方々に対し助成を行いました。また、地域助成財源の一部を充当しました。

(4) NHK歳末たすけあい募金助成

実績：5,284千円余 ※内1,250千円は県域公募助成に充当
(前年度：6,475千円余)

児童養護施設や障害児施設等の子どもたちへのお年玉プレゼント、児童養護施設等から自立する児童に対する支援を行うとともに、令和4年度は、新たにウクライナから本県に避難された方に対しお見舞金を支給しました。また、県域公募助成財源の一部を充当しました。

(5) 使途の明確化

共同募金の使途が寄付者に明確に伝わるようにするため、ホームページに「ありがとうメッセージ」を掲載するとともに、募金実績や使途などをまとめた活動報告書「赤い羽根レポート2021」を作成しました。

(6) 配分委員会の開催等

助成の適正な実施を図るため、配分委員会による現地調査、ヒアリング及び審議を行いました。

- ・配分委員会の開催：7月21日(小委員会)、8月31日、3月1日
- ・現地調査：3団体、1日間
- ・ヒアリング：29団体、7日間

4 組織運営

本会の適切な運営を図るため、理事会及び評議員会等を開催するとともに、市町共同募金委員会との緊密な連携により、共同募金運動の一層の推進に努めました。

また、職員の資質向上のための研修については、積極的な参加に努めました。

(1) 理事会及び評議員会等の開催

- ・理事会：6月6日、9月9日、3月15日
- ・評議員会：6月23日、9月20日、3月24日
- ・監事監査：5月25日
- ・市町共同募金委員会事務局長・担当者会議
 - 6月10日（オンライン）
 - 8月30日（事務局長・担当者研修、対面・オンライン併用）
 - 2月27日（オンライン）

(2) 研修会への参加

職員の資質向上を図るため、研修会等に積極的に参加しました。

ア 中央共同募金会主催の研修会等

- 4月21・22日（第1回都道府県共同募金会職員研修会：オンライン）
- 7月5・6日（赤い羽根全国ミーティング：オンライン）

- 7月29日（災害時支援基礎研修：オンライン）
- 8月5日（総務・会計担当者会議：オンライン）
- 11月1日（オンラインサロン「遺贈寄付」）
- 11月17・18日（第2回都道府県共同募金会職員研修会）
- 2月2日（社会貢献セミナー：オンライン）

イ その他の研修会等

- 11月19日（ヤングケアラーへの理解を深めるシンポジウム（山口県主催））

(3) 市町共同募金委員会への支援

市町共同募金委員会による共同募金運動推進の取組に対して、共同募金運動推進強化特別支援事業により支援しました。（11市町共同募金委員会）

(4) 県社会福祉協議会との連携

共同募金計画については、県社会福祉協議会の意見を踏まえて策定するとともに、県社会福祉協議会が策定した「第6次福祉の輪づくり運動推進県域活動計画」の推進を図るため、「特別助成プログラム」を拡充しました。

5 その他多様な取組

(1) 災害等準備金の積立等

被災地の復興を支援するボランティアセンターの設置や運営等を支援するための準備金を積み立てましたが、被災地を支援するための拠出については、該当がありませんでした。

また、災害被災地が募集した義援金の募集に協力しました。

- ・災害等準備金積立額：9,872千円（前年度：9,972千円）
- ・義援金取扱額：538千円余（前年度：587千円余）

(2) 被災者への見舞金の支給

県内の火災等による住居の喪失や死者の発生に際して、被災者等に見舞金を支給しました。

実績：94件 1,440千円（前年度：1,600千円）

(3) 民間資金による助成事業への協力

地域福祉を推進するための民間助成事業について、推薦等の協力をしました。

ア 中央競馬馬主社会福祉財団

法人名	施設名	所在地	助成額(円)	事業内容
(福)宇部市厚生事業会	軽費老人ホーム 好生園	宇部市	2,000,000	エレベータ改修
(NPO)ふれあいの家鴻の峯	就労継続支援B型事業 ワークステーション大歳	山口市	770,000	事業所屋根改修
(NPO)ぴーすくえあ	放課後等デイサービス ゆーすくえあ	下関市	1,820,000	1BOX 2000CC
(福)下関市民生事業助成会	障害支援施設なごみの里	下関市	1,780,000	1BOX 1500CC 車いす仕様
合 計			6,370,000	

イ 毎日新聞西部社会事業団

財団法人 山口県肢体不自由児協会（肢体不自由児の研修） 100千円

(4) 受配者指定寄付金

指定した社会福祉法人等の公益法人に寄付をすることができる「受配者指定寄付金」については、該当がありませんでした。

(5) 共同募金協力者等に対する顕彰

共同募金運動の推進に功績のあった個人や団体の推薦や顕彰を行いました。

ア 厚生労働大臣表彰（1人、1団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	佐伯泰司	萩市	全国社会福祉大会 令和4年12月13日 浅草公会堂
奉仕団体	有限会社吉岡土建	阿武町	

イ 中央共同募金会会長表彰等（1人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕功労者	朝倉孝吉	宇部市	全国社会福祉大会 令和4年12月13日 浅草公会堂
地区・団体	下松市共同募金委員会	下松市	
感謝楯	生活協同組合コープやまぐち	山口市	令和4年7月25日、県社会福祉会館

ウ 山口県知事表彰（3人、2団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	木下昇	宇部市	山口県総合社会福祉大会 令和4年11月10日 KDDI維新ホール
〃	大嶋千鶴子	萩市	
〃	柴田學樹	防府市	
奉仕団体	山口ウイング	山口市	
〃	岩国市子ども会連合会周東支部	岩国市	

エ 山口県共同募金会会長表彰等（33人、10団体）

表彰種別	受賞者	市町名	備考
奉仕者	日高隆子	宇部市	山口県総合社会福祉大会 令和4年11月10日 KDDI維新ホール
〃	井上博己	〃	
〃	金次昭夫	〃	
〃	加藤洋治	〃	
〃	藤田英夫	〃	
〃	大磯榮子	〃	
〃	住田豊実	〃	
〃	公文雅敏	萩市	
〃	石永勝世	〃	
〃	坂本千代乃	〃	
〃	波多野由美子	〃	
〃	谷野悦美	〃	
〃	豊田真知子	〃	
〃	池部三重子	〃	
〃	豊田浩美	〃	
〃	厚狭伸行	〃	
〃	曾根康夫	〃	
〃	菊地清孝	〃	
〃	波多野勝子	防府市	
〃	臼井大和	〃	
〃	森重健一	〃	

奉仕者	小川博敏	防府市
〃	嬉静恵	柳井市
〃	藤本恒行	平生町
〃	岩村幸子	〃
〃	田尾正昭	〃
〃	村中幸枝	〃
〃	須山孝秀	〃
〃	新明史子	〃
従事者	伊藤彰	山口市
〃	村重理是	〃
〃	河原光雄	周防大島町
〃	谷一夫	田布施町
感謝	株式会社青葉石油	岩国市
〃	榎本産業株式会社	〃
〃	東光電設株式会社	〃
〃	岩国産業運輸株式会社	〃
〃	株式会社ミヤベ	〃
〃	宗教法人法寿寺	〃
〃	医療法人川下整形外科	〃
〃	万行寺保育園	〃
〃	医療法人社団西岡医院	〃
〃	株式会社光ギフトセンター	光市